

令和3年3月3日

精華町地域公共交通会議委員 各位

精華町地域公共交通会議  
会長 中尾 聡史



### 第13回「精華町地域公共交通会議」の書面協議結果について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、精華町地域公共交通会議に対しましてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

第13回精華町地域公共交通会議の書面開催にあたりましては、ご意見等いただきありがとうございました。結果につきまして、以下のとおり報告いたします。

#### 【議題と結果】

##### 議題①精華くるりんバスの利用状況について

- ・くるりんバスの効果検証については、町ホームページにも掲載されている事業の目的に照らし行うべき。これまでの会議では事業目的中心の議論が無かったように感じる。  
→今後、くるりんバスの総括と検証を進める中で、事業目的の見直しも含め、本会議の中で検討を進めたいと考えています。
- ・令和元年度と2年度の比較では、利用者減の要因はコロナ禍と考えられるが、それ以前にも利用者が漸減傾向にあったか。  
→令和元年度以前の利用者については、平成28年度75,669人、平成29年度74,667人、平成30年度74,249人で微減傾向にありましたが、顕著に利用者が減っているというは見られませんでした。

##### 議題②コロナ対策に係る公共交通への支援等について

- ・意見無し

##### 議題③デマンド交通実験の実施について

- ・くるりんバスの総括と検証の中での実験実施とのことで、今回の実験を今後の具体的な方向性とどのような形で関連付けるのか。  
→現在のくるりんバスの利用状況や運行に対する財政支出等と比較検討する形で、運行改善の足掛かりにできればと考えています。
- ・実験の走行ルートが最短走行でのルート変更が可能ならば、現在のくるりんバスのルートに拘らない実験走行ルート選定もあるのでは。  
→将来的には、現在のくるりんバスのルート外も含め検討を進めます。



- ・広域交通の観点に関しては今後の重要な改善と考えており、今後近隣市との協議が積極的に推進されることを期待する。
- ・地域移動交通の利用需要を鑑みると、対象エリアの着地の周辺施設を対象として掲載し啓発すべき。(国会図書館、KICK、けいはんな記念公園、学研都市病院、けいはんなプラザ)
  - 町ホームページでの周知において、周辺施設の啓発をします。
- ・予約イメージには、本町の施設名称等に即した形で記載することが望ましい。
  - 各戸配布するチラシでは施設名称に即した形で記載しています。

#### 議題④ラストワンマイルモビリティ実験の結果について

- ・もう少し効果検証が必要かもしれないが、くるりんバスの事業目的に照らすならば、くるりんバスよりも評価できると思う。
- ・呼出方法の分布で、Web利用が約70%、電話が30%となっている一方で、年代別の利用回数は70代以上の利用回数が約30%程度占めているが、予約方法別の年代分布のデータがあるなら、今後様々な施策を設計する際の参考になると思う。
  - 実施主体のNTT西日本との連携を図りながら、実施結果の共有等により施策検討の参考とすべく調整しています。